

平成 25 年度調査研究等計画書

事業名	磯焼け等沿岸域機能回復支援事業			
事業年度	平成 21～ 年	事業費 財 源	777 千円 (-) 777 千円 (国) (諸)	担当者 増養殖環境課 田井野清也
<p>【背景・目的】</p> <p>大型海藻の衰退現象を一般に「磯焼け」と総称しており、全国の沿岸海域で見られている。現在、磯焼け状態から海藻群落を形成させるために各地で様々な取り組みがなされており、高知県においても平成 14 年度からウニ類除去による藻場の再生を試みている。本事業では、県内各地においてウニ類除去後の海藻群落の遷移状況とウニ類の進入状況を継続的に調査し、ウニ類除去の効果及び効果の持続期間等を明らかにしようとしている。さらに、平成 21 年度からは環境・生態系保全活動支援事業が開始され、各地で漁業者による磯焼け対策が実施されている。</p>				
<p>【事業の概要】</p> <p>平成 25 年度に水産多面的機能発揮対策の一環で設置したウニ類除去区（竜串、窪津、田野浦、上川口、興津、志和、矢井賀、上ノ加江、池ノ浦、久通、手結、宿毛湾）において、現地調査（海藻やウニ類等の分布状況調査）を行う。</p>				
<p>【全体計画とこれまでの成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ウニ類除去区の追跡調査 本県における磯焼け対策手法として、ウニ類除去の有効性を実証した。 環境生態系保全対策に係るウニ類除去区の現地調査 環境生態系保全活動支援事業で実施される漁業者によるウニ類除去の技術支援（事前モニタリングによる除去区の選定、磯焼け対策手法の検討）を行った。 事業開始時の磯焼け対策箇所は 4 箇所であったが、平成 24 年度は 12 箇所まで拡大した。 平成 21～24 年度にかけて実施した環境生態系保全活動支援事業の取り組み内容と成果を紹介するパンフレットを作成した。 				
<p>【25 年度計画】</p> <p>県内 12 箇所（竜串、窪津、田野浦、上川口、興津、志和、矢井賀、上ノ加江、池ノ浦、久通、手結、宿毛湾）で、水産多面的機能発揮対策でウニ類除去を実施した区域内外でそれぞれ 1 回以上モニタリング調査を行う。</p>				
<p>【成果目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ウニ類除去後のウニ類侵入状況及びウニ類の密度と海藻類の繁茂状況との関係を把握し、ウニ類除去の効果及び効果の持続期間等を検討する。 水産多面的機能発揮対策（環境生態系保全活動支援事業）で組織された各地域の活動組織を支援し、ウニ除去実施面積の拡大と漁業者・地域住民による磯焼け対策を継続させる。 各地先に適応した藻場再生手法を提案し、漁業生産の基礎となる沿岸域の藻場の再生を目指す。 				
<p>【期待される効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ウニ類除去の効果及び効果の持続期間等を明らかにし、藻場再生手法の効率化が期待できる。 ウニ類除去実施面積の拡大や漁業者・地域住民による継続的な磯焼け対策により、本県沿岸域に広がる約 300ha の磯焼け海域での、効率的な藻場の回復が期待できる。 				